第一編 死亡・障害事例と 事故防止の留意点

第一編の利用に当たって

1 第一編は、平成28年度に独立行政法人日本スポーツ振興センターが「死亡見舞金」「障害見舞金」「供花料」を支給した全事例470件を整理、分類し、統計的に死亡、障害の発生の傾向を示すとともに、「事例(発生状況)」と「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。

なお、医療費を給付した負傷・疾病(継続給付分を除く)件数については、第二編に掲載 した。

- 2 構成は、「死亡編 | 「障害編 | 「供花料編 | の3編に分け、それぞれの事例を掲載した。
- 3 「供花料」における支給対象事例とは、学校の管理下における死亡で、損害賠償を受けた こと等により、死亡見舞金が支給されなかった災害事例である。
- 4 学校種は、「小学校」「中学校」「高等学校・高等専門学校」「特別支援学校」及び「幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等」に分類した。
- 5 事例は、「各教科等(含保育中)」「特別活動(除学校行事)」「学校行事」「課外指導」「休憩時間」「寄宿舎にあるとき」「通学中(通園中)」での事故に分類した。なお、道徳、自立活動、総合的な学習の時間については編集の都合上、各教科等に含め、また、学校行事は通常であれば、特別活動に含まれるが、特に事例が多いため別立てとした。
- 6 「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。本書が平成28年度における死亡、障害を対象としているところから、この範囲の事例について述べるとともに、学校で日ごろ留意すべき点について、以下の先生方に執筆を依頼した。

学校生活における事故防止の留意点

 (1) 小学校編
 東京都世田谷区立塚戸小学校
 校長
 永山 満義 氏

 (2) 中学校編
 東京学芸大学
 教授 渡邉 正樹 氏

(3) 高等学校・高等専門学校及び特別支援学校編

東京女子体育大学 教授 戸田 芳雄 氏

(4) 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等編

福岡大学 准教授 小栁 康子 氏

7 事例の内容については、個人情報に触れることがないよう、学校名、個人名、地名等は除いた。なお、欄の記載内容はそれぞれ次のとおりである。

 【死亡編・供花料編】
 事例番号
 被災時学校種学年・性別
 死因

 【障害編】
 事例番号
 被災時学校種学年・性別
 障害種類別名

(複数の症例の場合は、一番重い症例)

8 事例の中で、『学校の出来事による死亡』とあるのは、児童生徒等の安全な学校生活を妨 げる特別な事実のことである。



I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数(平成28年度 給付対象事例)

表-1 場合別の発生件数

○は突然死数で内数

	場合	競技種目	小学	2校	中学	学校	高等等 高等専	学校・ 門学校	特別	支援	学校	幼稚園 保育		総計
		準備運動	1	1										1
	体育(保健体育)	陸上競技(その他)			1	1								1
各教科等	TH (MMTH)	スキー	1											1
		その他	1	1										1
	その他の教科		2	2										2
保育中												2	2	2
特別活動	給食指導		3	2	1				高	1				5
(除学校行事)	その他				1									1
学校行事	その他儀式的行事				1									1
子仅17字	その他集団的宿泊行事		1											1
	体育的部活動	陸上競技(その他)			1									1
		サッカー・フットサル					2	2						2
		ハンドボール			1		1	1						2
		バレーボール			1									1
課外指導		バスケットボール					1	1						1
沐沙內日等		ラグビー					1							1
		バドミントン					1	1						1
		柔道					1							1
		馬術					1	1						1
	その他						1	1						1
休憩時間	休憩時間中		1		2		2							5
小窓时间	始業前の特定時間中				1									1
寄宿舎にあるとき							2							2
(A) (A)	登校(登園)中		1		2		2		中	1				6
通学中	下校(降園)中		1	1			4	2						5
	総計		12	7	12	1	19	9		2		2	2	47

※幼連:幼保連携型認定こども園の略

表-2 死因別の発生件数

学校種別		小学校中学校		高等学校·		特別支援学校	幼稚園·幼連·	総計	
死因別		小子校	中子仪	高等専門学校	小	中	高	保育所等	形で、日
	突心臟系	1	1	5				1	8
突然死	突中枢神経系	6		2					8
天杰死	突大血管系			2				1	3
	小 計	7	1	9	0	0	0	2	19
頭部外像	5	1	4	3					8
溺死				1					1
頚髄損り	5			1					1
窒息死	(溺死以外)	2	2	2		1	1		8
内臓損傷	员	1	1	1					3
熱中症			1						1
全身打排	类	1	3	2					6
я́	総 計	12	12	19	0	1	1	2	47

表-3 男女別の発生件数

	小学校	中学校	高等学校·		特別支援学校	幼稚園·幼連·	総計	
	八子収	十子权	高等専門学校	小	中	高	保育所等	15G/12
男	5	8	13		1		1	28
女	7	4	6			1	1	19
総 計	12	12	19		1	1	2	47

1 小学校における死亡の事例

[I] 各教科等

(1) 体育(保健体育)

●準備・整理運動

28死 - 1 小 3 年 · 女 中枢神経系突然死

授業中、体育館で準備運動として7周を走り、縄跳び(前跳び、後ろ跳び各100回・交差跳びなど)と腹筋運動を行った後に、頭(右前額)をおさえて痛みを訴えた。担任が「頭をぶつけたの」と尋ねると、「どこもぶつけていません」と答えた。一緒に歩いて保健室に向かう途中、体育館入口で倒れた。救急車を要請、病院で治療を受けたが、数日後に死亡した。

2スキー

28死 - 2 小 6年 · 女 内臓損傷

スキー場での体育授業で、コースをスキーで滑走中、他者と衝突した。事故発生後、パトロール隊員による処置を受けた後、病院に搬送されたが同日死亡した。

3その他

28死 - 3 小6年 · 女 中枢神経系突然死

休憩時間に見づらさを感じていたが、3 校時は体育だったため着替えて校庭へ向かった。担任へ申し出て、体育には参加せずに、そのまま一人で歩いて、校庭側のドアから保健室へ行った。目の見えづらさ、頭痛を訴え、ベッドに寝かせ、すぐに救急車を要請し、保護者へ連絡した。本児童は当日、前日も頭部を打つようなことはなかったと話していた。病院に搬送されたものの、同日死亡した。

(2) その他の教科

28死 - 4 小 6年 · 男 中枢神経系突然死

授業中に教室で気分が悪いと訴えた。友人が付き添って保健室に行く途中の階段で嘔吐した。 保健室にて体温や脈拍などは異常なかったが、顔色が悪かったためベッドで休んでいた。再び、 嘔吐したため、救急車を要請、搬送された病院にて一週間後に死亡した。

28死 - 5 小 2年 · 男 中枢神経系突然死

授業をしている際、泣きそうになって頭痛を訴えた。数分後に激しく痛みだし動くことができなかったため、担任が抱えて保健室に搬送した。保健室では泣き叫んだ後、意識がなくなった。AEDを装着するとともに心肺蘇生を続け、救急車で搬送、同日死亡した。

[Ⅱ]特別活動(除学校行事)

(1) 給食指導

28死 - 6 小6年 · 男 中枢神経系突然死

給食時の配膳を手伝った後、階段の踊り場で担任に頭痛を訴えた。担任が様子を見つつ教室 まで連れて行った。給食を食べようとしたら嘔吐したので、担任が職員室へ応援を頼んだ。養 護教諭が駆けつけ、本児童の異変に気付き、その場で横臥させ救急車を要請、病院で手当を受 けたが、数か月後に死亡した。

28死 - 7 小1年 · 女 中枢神経系突然死

給食終了後、教室で突然嘔吐した。その後流し場で更に嘔吐した。嘔吐後にその場にふらふらと倒れ込み、意識を失った。直ちに、救急車を要請し、病院へ搬送した。入院治療を行ったが、数日後に死亡した。

28死 - 8 小 1 年 · 男 頭部外傷

給食準備時間に、運動会練習を終えた6年生が教室に帰ってきたことに喜びくるくる回っていたところ転倒し、腕部と頭部を床で打った。保健室で受傷部分を冷やした。その後保護者が迎えに来て帰宅した。その夜病院に運ばれ、緊急手術となり、数日後に死亡した。

〔Ⅲ〕学校行事

(1) その他集団宿泊的行事

28死 - 9 小5年 · 女 室息死 (溺死以外)

宿泊行事の第2日目、屋外炊事棟で昼食のため飯盒炊飯をしていた。食事中、本児童は既往 症があるため、学級担任が、一口ずつかじれるように親指大の太さのフランクフルトを半分に 切って、箸2本で刺して本児童に渡したが、のどの奥に詰まらせてしまった。除去しようと背 中を叩いたが除去が困難だったので、救急車を要請した。病院で治療を受けたが同日死亡した。

〔IV〕休憩時間

(1) 休憩時間中

28死 - 10 小 6年 · 女 室息死 (溺死以外)

学校の出来事による死亡

〔V〕通学中

(1)登校(登園)中

●徒歩

28死 - 11 小 6年 · 男 全身打撲

兄と一緒に登校しようと自宅マンション7階を出た。エレベーターまで行ったが、本児童は 「トイレに行く」と言い、カバンをエレベーター付近に置き、一人で家に戻った。兄は「早く こいよ」と声を掛けて先に出かけた。その後、7階通路より墜落し、駐車場で発見された。直 ちに病院に搬送されるが、既に心肺停止状態にあり、搬送先にて死亡した。

(2) 下校(降園)中

❶鉄道

28死 - 12 小 5年·女 心臟系突然死

下校中、駅から電車に乗車した際、突然心室細動を起こし、その場に倒れて救急搬送された。 数日後に死亡した。

2 中学校における死亡の事例

[I] 各教科等

- (1) 体育(保健体育)
- ●陸上競技(その他)

28死 - 13 中 3 年 · 男 心臓系突然死

体育の授業でスポーツテスト(シャトルラン)中に倒れ、AED のショックを与えた。救急 車で病院へ搬送したが数日後に死亡した。

[Ⅱ]特別活動(除学校行事)

(1) 給食指導

28死 - 14 中1年·男 全身打撲

学校の出来事による死亡

(2) その他

28死 - 15 中 2 年 · 男 内臓損傷

学校の出来事による死亡

〔Ⅲ〕学校行事

(1) その他儀式的行事

28死 - 16 中 3 年 · 女 頭部外傷

本生徒はいつもどおり登校。終業式のため体育館へ移動した。本生徒は突然立ち上がり「おなかが痛いのでトイレに行ってもいいですか。」と訴えた。その後姿は確認されていない。通行人から「生徒が倒れている。」と連絡があり、教員2名が現場に向かった。現場には女子生徒がうつぶせで倒れており、倒れている状況から生徒が誰か特定できなかった。その後、救急車で病院に搬送され、病院で本人確認と死亡が確認された。

〔IV〕課外指導

- (1) 体育的部活動
- ●陸上競技(その他)

28死 - 17 中 1 年 · 男 **室**息死 (溺死以外)

日直である教員が校舎2階の点検をしていたところ、手洗い場付近にサブバックとリュックサックが置いてあるのを発見した。そして階段の鉄製手すりにひもをくぐらせ、そのひもに首をくくり宙吊りになっている本生徒を発見した。救急車が到着するまで、心肺蘇生及びAEDを使用し、病院で医療処置を続けたが同日死亡した。

2ハンドボール

28死 - 18 中1年 · 男 熱中症

ハンドボール部の活動中、運動場で準備運動としてランニングをしていたところ、35分走り終えた時にふらついたので、顧問が日陰に座らせ休ませたが、寝ころんでしまい、自力で給水できず、問いかけにも応えなくなった。すぐに氷で頚部や脇を冷やす等の応急処置を行った。救急車を要請、入院したが、同日死亡した。

③バレーボール

28死 - 19 中 2 年 · 女 頭部外傷

学校で行われた試合の帰路、歩道を他の部員とともに一列で自転車走行していた。本生徒が 自転車ごと転倒し車道に倒れてしまい、後方から走行してきた自動車(トラック)にひかれ死 亡した。

〔V〕休憩時間

(1) 休憩時間中

28死 - 20 中 2 年 · 女 全身打撲

学校の出来事による死亡

28死 - 21 中 2 年 · 男 **室**息死 (溺死以外)

学校の出来事による死亡

(2) 始業前の特定時間中

28死 - 22 中 2 年 · 女 頭部外傷

通常どおり自転車で登校した。既往症のある本生徒は、教室に入り机に鞄を置いた後、非常階段の扉の鍵を開け、階段を上り4階踊り場に出た。手すりの柵を乗り越え、顔を校舎側に向け両手で柵を握り、両足を床につけた状態で、体を前後にゆらしていた。通行中の市民が見つけ、学校へ通報。すぐ教頭が駆けつけたが、転落して倒れている状態で発見された。

〔VI〕通学中

(1) 登校(登園) 中

●徒歩

| **28死 - 23** | 中2年 · 男 | 頭部外傷

雨が降っていたため、傘をさして徒歩で登校していた。通学路となっている踏切から西側 60m の踏切のない線路を横断中、電車にはねられ死亡した。

28死 - 24 中 2年 · 男 全身打撲

学校の出来事による死亡

3 高等学校・高等専門学校における死亡の事例

[I] 課外指導

(1) 体育的部活動

●サッカー・フットサル

28死 - 25 高2年·男 心臓系突然死

サッカー部で合宿遠征中であった。3日目にゲームをし、その大学の合宿所に宿泊していた。 起床時間になっても起きないため同室生徒が確認したところ、心肺停止状態であった。すぐに 救急車を要請したが、搬送先の病院で死亡した。

28死 - 26 高 3 年 · 男 心臓系突然死

サッカー部の練習中、急に胸の痛みを訴えて倒れ込んだ。すぐに意識を失い、呼吸と脈拍が 認められなくなった。救急車を要請し、養護教諭が AED と心臓マッサージを行った。病院で 様々な治療を行ったが、数日後に死亡した。

2ハンドボール

28死 - 27 高1年·女 中枢神経系突然死

運動場で部活動をしていた。練習中に気分が悪くなり、座り込んだ。異常に気付いた生徒が 教諭に報告した。熱中症を疑い、体を冷やし水分をとらせたが、一口飲んで吐きだした。やが て意識が低下していく様子のため救急車を要請した。病院へ搬送、検査の結果緊急手術となっ たが、翌日死亡した。

③バスケットボール

28死 - 28 高1年·女 大血管系突然死

バスケットボール部のオフェンス練習中、列に並び順番を待っていたところ、その場にうずくまり、胸痛を訴えた。痛みの訴えが強いので、救急車を要請、病院に搬送した。詳しい検査のため転院したが、翌日死亡した。

4ラグビー

28死 - 29 高1年·男 頭部外傷

ラグビー部の活動中、コンタクト(ぶつかる)練習の際には必ずヘッドキャップとマウスピースの着用を義務づけ、このときもヘッドキャップとマウスピースを装着していた。笛が鳴った時に本生徒がボールを持っていたため、正面にいた選手からタックルを受け、ボールを持ったまま後方へ下がり、そのままグラウンドに倒れ、後頭部を打った。すぐに立ちあがり、歩いて移動を始めたがその後に再度倒れた。直後は、応答ができていたが、すぐ意識が混濁し、いびきをかき始めたため救急車を要請、病院に搬送された。緊急手術を受けたが翌日死亡した。

Gバドミントン

28死 - 30 高1年·男 大血管系突然死

バドミントン部の本生徒は、4人1組でアップを兼ねて校舎外周(1km弱)ジョギング中に

突然ぐったりした状態で倒れた。その後一度、身体を起こし「何やったんやろ」と言って、再 度倒れ心肺停止状態となった。電気ショックを2回、救急車で搬送中に心肺機能は戻り、集中 治療室に運ばれたが意識不明の状態が続いた。総合病院へ転院したが約1か月後に死亡した。

6柔道

代表選手の選考を行う試合稽古をしていた。本生徒と相手生徒が相四つでお互いに互角の内容で試合が経過していく中「袖釣り込み腰」の技を相手へ掛けた。技を仕掛けられた相手は投げられないように踏ん張った際、本生徒が体勢を崩し肩口から畳に倒れる状況となった(頭部側面から倒れたように見えた)。その後、仰向けの状態で体を動かすことが出来なくなった。顧問は動かさずに安静を保ち、頚部固定を行った。救急搬送された後、手術を受けたが意識不明の状態となった。数日後に死亡した。

7馬術

28死 - 32 高1年·男 心臓系突然死

部活動を終え、これからの寮の大掃除のため、他の部員とともに校地内の道を走って戻っている途中、寮の手前約 10m の地点で急によろめいて倒れた。駆けつけた教諭が救急車を要請、本生徒が、起き上がろうとしたり、開眼したため、AED は使用しなかった。医師による心肺蘇生が試みられたが、同日死亡した。

(2) その他

28死 - 33 高 3 年 · 女 心臓系突然死

朝から模試を受けるため、大学に来ていた。教室で午前中の科目を受けた後トイレに行った。 同じ教室にクラスメートも数名いたが午後から見かけた者はいなかった。女子トイレで発見され病院に搬送したが死亡した。

〔Ⅱ〕休憩時間

(1) 休憩時間中

28死 - 34 高1年·男 頭部外傷

休憩時間中に、教室からベランダに走り出て手すりに飛び上がり、勢い余ってそのまま3階から、正面玄関のひさしに頭から転落した。救急隊により病院に搬送後、心肺蘇生施行するも 蘇生せず同日死亡した。

28死 - 35 高 2 年 · 男 | 窒息死 (溺死以外)

学校の出来事による死亡

〔Ⅲ〕寄宿舎にあるとき

28死 - 36 高2年 · 男 溺死

寮の浴槽に沈んでいる本生徒を他の生徒が発見した。すぐに寮監へ連絡、教頭に報告、救急 車を要請した。AEDを要請し、救急隊の指示で直ちに胸骨圧迫を開始した。病院に搬送され たが同日死亡した。

28死 - 37 高2年·女 室息死(溺死以外)

登校時間になっても本生徒が部屋から出てこないのを不審に思って、寮館長が本生徒の部屋 に入ったら、トイレのドアノブにひもをかけて首を吊っていた。救急車が到着するまで、心肺 蘇生を続け、病院に搬送、治療が行われたが、同日死亡した。

〔IV〕通学中

(1)登校(登園)中

●自転車

28死 - 38 高1年·男 全身打撲

登校中に、踏切で下りの貨物列車通過後に自転車で踏切を渡ろうと線路内に入ったところ、 反対から来た上りの普通列車にはねられ、全身を強打した。救急車で病院に搬送されたが、約 1時間後に死亡した。

2鉄道

28死 - 39 高3年·男 内臓損傷

部の練習に出席するために、駅構内で、電車が着くので白線側に歩いていったところ、ホームから線路側に転落した。急いでホームによじ登ろうとしたとき、電車が入ってきて挟まれた。 救急車で搬送されるも、同日死亡した。

(2)下校(降園)中

●自転車

28死 - 40 高 2 年 · 男 全身打撲

本生徒は学校で部活動後、自転車で帰宅しようとして自宅のある 12 階で自転車を引いて後 ろ向きのままエレベーターから降りようとしたところ、ドアが開いたままエレベーターが上昇 し、エレベーターの床部分と天井の間に挟まれ、全身を圧迫した。数十分後に救出され病院に 運ばれたが死亡した。

2鉄道

28死 - 41 高1年·男 中枢神経系突然死

放課後部活動の練習をし、帰途についた。通学電車内で突然呼吸困難に陥った。救急搬送中 に一時心肺停止となり、搬送先の病院にて人工心肺装置による処置、そして6時間に及ぶ手術 を受けた。しかし、その後意識の回復がないまま数日後に死亡した。

28死 - 42 高 2 年 · 女 心臓系突然死

友人と下校途中に電車内で頭痛と気分不良となり休養のため駅で途中下車した。症状がひどかったため、駅員に救急車を要請し病院で手術を受けたが、数日後に死亡した。

28死 - 43 高 3 年 · 女 頭部外傷

本生徒は特急列車通過時にホーム上から頭を線路の方へ出して列車とぶつかり受傷した。発見した駅員が通報し、病院に搬送されるも、同日死亡した。

4 特別支援学校における死亡の事例

(I)特別活動(除学校行事)

(1) 給食指導

28死 - 44 特高3年 · 女 窒息死 (溺死以外)

給食時間(自立活動)中、ランチルームで食事をしていた。その際、食物を喉に詰まらせた。 緊急搬送後、ICUで治療を受けるも意識回復がなく、数週間後に死亡した。

(Ⅱ) 通学中

(1)登校(登園)中

●自動車

28死 - 45 特中 3 年 · 男 室息死 (溺死以外)

自宅から送迎バスを利用して登校中、車内で本生徒が咳き込みだした。送迎担当者が生徒の背中をたたきながら運転し、学校へ向かった。途中、生徒は呼びかけに反応しなくなった。学校到着時には生徒の顔色は青白くなっており、ぐったりしていた。学校での救命処置後、救急車で病院へ搬送され治療が行われたが、同日死亡した。

5 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等における死亡 の事例

(I) 保育中

28死 - 46 保 3 歳 · 男 心臓系突然死

登園し自由遊び(幼児3クラス合同)をした。その後、片付けをして、順番にトイレに行った。その後、本児が体育座りから横になっていることに担任が気付き、声掛けをしたが、反応がなく、唇、顔面蒼白、目がうつろ、手足脱力。担任が気道確保し胸骨圧迫、人工呼吸を開始した。救急車到着後、救急搬送されたが、同日死亡した。

28死 - 47 幼 4 歳 · 女 大血管系突然死

保育中、プール活動をするために教室で水着に着替えた。身体に障害があり歩行のできない 園児のため、加配の教諭が抱きかかえてプールへ移動し、プールサイドへ腰掛けてシャワーの 順番を待っていた。突然顔色が蒼白になり、呼吸が止まっていることに教諭が気付いた。すぐ に、人工呼吸・心臓マッサージを行った。救急車で医療機関へ搬送されたが同日死亡した。